

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

(地方公会計の整備関係)

○登録者情報

杉山 隆（すぎやま たかし）

所在地 秋田県

組織名・所属 役職 安心経営(株) 代表取締役



略歴

①平成 19 年度決算書から開始貸借対照表を作成し、平成 20(2008)年度から地方公会計の整備を本格化しました。開始時の固定資産台帳の整備・財務書類の作成業務を行い、以後継続的に作成・更新ができる体制の構築支援をいたしました。②関係部署職員向けの勉強会を複数回実施し、その後の情報収集とルール決めの土台としました。③2019 年 4 月 11 日、潟上市 3 役のご臨席を得て、《潟上市財政改革プロジェクトチーム》の方々向けに研修会を実施いたしました。テーマは、『財政基盤強化—入るを量りて出ざるを制す—』です。目次は次の 3 つです。1.【赤字 20 億円対策】 2.【保全の実施方針】 3.【40 年間の財政シミュレーション】です。

○主な取組内容・実績

経年比較・類似団体比較・市町村平均比較を活用できます。4 つの要素「健全性：7 指標」「効率性：8 指標」「公平性：9 指標」「資産適合性：12 指標」に区分します。そして、要素ごとに 36 項目の特質を把握できます。平成 27 年度から統一的な基準を採用しました。経年比較を実施する 7 つの期待成果 <1>分析項目の推移を知り、数字とグラフで分析値の経年変化を確認できます。<2>事務事業とその目標が実現し（結果）、指標項目が改善されます（成果）。<3>議会や住民に対する財政運営状況の説明に活用できます。<4>指標改善項目を予算編成や行政評価活動に計画的に取り組むことができます。<5>下水道事業等の「赤字」にメスを入れることができます。<6>長期的財政改善方針

を結実させることができます。〈7〉財政戦略の策定が明確にでき、財政完全化を実現できます。

○その他

①経営革新等支援機関として、継続的に活動を続けております。②論文「人口3万人未満の自治体財政の到達点」166-177頁 公会計改革に協力する会計人の会著『新地方公会計実務上の諸問題』（2011年7月1日 東峰書房）③論文「地方公会計統一基準の資産負債内訳簿と附属明細書の作成方法」45-78頁 一般社団法人 地方公会計研究センター編著『地方公会計2016〈統一基準と実務上の諸問題〉』（2016年3月23日 東峰書房）④論文「注記について」79-91頁 一般社団法人 地方公会計研究センター編著『地方公会計2016〈統一基準と実務上の諸問題〉』（2016年3月23日 東峰書房）